

イエスは 主なり

日本クリスチャン・アシュラム連盟



日本アシュラム

アシュラムとはスタンレー・ジョーンズ師がインドの退修方式を取り入れて創始されたキリスト教の新しい祈禱運動である。

開心・静聴・充滿・献身・奉仕 128

『明け渡しと分かち合い』

マルコによる福音書15章25～34節

岡山 敦彦



主イエスのもとには、多くの病人や苦しみの中にある人たちが集まってきた。

この聖書の箇所が登場するひとりの女性も例外ではなかった。彼女の病は、十二年間にもおよぶ長血であった。彼女には幾つかの苦しみがあった。

その一つは、肉体的苦しみである。一口に十二年間といっても、それは経験したものでなければ分からないものである。

二つめは、経済的苦しみである。多くの医者からひどいめに会わされて、自分の持ち物をみな使い果してしまっていた。おそらく彼女は豊かな家庭の出身であったに違いない。しかし、今は一文無しである。

三つ目は、社会的苦しみである。レビ記15章25節には、長い日数にわたって血の漏出がある場合、その女性は汚れていると記されている。重い皮膚病と同じく、彼女は社会から差別の目で見られていた。

四つ目は、霊的苦しみである。なぜ自分がこのような病になって苦しまなければならなかったのか。その原因は自分にあるのか、それとも他にあるのか。彼女は、日々悶々とした毎日を過ごしていた。これこそ、宗教的苦しみである。

そのような時、彼女は主イエスのことを耳にした。このお方以外自分の苦しみを解決してくださる方はいないと思った。しかし、彼女には主イエスの前に進み出て、私の病いを癒してくださいとお願いする勇氣もなかった。ただ、彼女は、群衆の中に紛れ込み、うしろから、イエスの衣のすそにさわった。すると、すぐに血の源がかれて、ひどい痛みが直ったことを、からだに感じた。イエスもすぐに自分のうちから力が外に出て行ったことに気づかれた。「だれがわたしにさわったのか」尋ねられた。弟子たちは、群衆が押し迫っているのだから、誰がと言っても到底無理だとしか答えようがなかった。しかし、主イエスはあくまでも、自分から名乗り出るのを待っておられた。

人が癒されるのは、決して自分ひとりの力によるのではない。誰かの力を借り、助けを得て癒されていくのである。この女性は、もうこれ以上隠し切れないと感じたのでしょう。イエスの前に進み出て、真実を余すところなく打ち明けた。イエスは「あなたの信仰があなたを直したのです。」と言われた。

彼女の心には、主イエスへの明け渡しの信仰がありました。この方以外に自分を救ってくださるお方はないとの確信があったのです。

私たちは、毎日の信仰生活の中でいったいどれだけ主に明け渡しているのでしょうか。主を信じていると言いながら、自分の力で何とかしなければと悪戦苦闘していないのでしょうか。

主イエスは、彼女が癒されてその場を離れることをお許しになりませんでした。彼女は真実を余すところなく打ち明けました。主の恵みはひとりの人の内に留まるものではありません。恵みを分かち合ったとき、更に主の栄光が輝きを増すのです。

(日本同盟基督教団小倉中央教会牧師)

新約聖書 霊想

『村人の拒絶』(2)

ルカ4・16〜30

函館栄光教会牧師 白川鄭二

イエスが新しい預言者であるという評判が高まって間もなく、イエスは故郷のナザレに行き会堂で聖書を朗読した。彼に手渡された聖書の箇所はイザヤ書61章であった。その1、2節を読んでイエスは、この預言は今日、成就したと宣言した。そのイエスの聖書解釈に対して会衆は反対した。そしてイエスを会堂から追い出し、町の外れの崖からイエスを投げ落とそうとしたが、イエスは彼らの間を通りぬけて去られた。会衆はイエスにもし彼が主張するようにメシアであるなら、その証拠として幾つかの奇跡を行うように要求した。イエスは拒絶し、「しるし」によらないで、彼の言葉を信じるように要求した。その聖書の根拠としてエリヤやエリシャのような大預言者たちが不信仰のユダヤ人ではなく、神を畏れる異邦人に遣わされた出来事を例とし、神はユダヤ人であるという理由からではなく、神を信じる人であるから助けを受けるという聖書の解釈を示された。それはユダヤ人の伝統的な考えとは全く合わないも

のであった。彼らは、メシアが来る終わりの日には、神の民イスラエルは救われるが、敵は粉碎され神の怒りの火によって焼き滅ぼされるべきだと異邦人に敵愾心を燃やしていたからである。それなのにイエスは自分こそ、世界のすべての民が待望する平和と解放の使者であると宣言したのである。彼はイスラエルの敵の破滅を説かず、全ての貧しい者、虐げられている者、捕らえられている者が神の憐れみによって救われるという恵みを告げた。イスラエル民族の範囲をこえ、異民族をも受け入れる神の恵みが到来したというイエスのメッセージは、ナザレの会堂にいた聴衆を憤激させたのである。イエスが「しるし」を行うことを拒否したもう一つの理由が、悪魔の働きに対するイエスの戦いである。ルカ4・1〜13に荒野でのイエスの戦いが記されている。へお前がメシアであるなら①石をパンに変えよ。②世の国々の一切の権力と繁栄を与えるから、わたしを拝め。③へ神の子であるというなら、神殿の天窓から飛び降りてみよ。これらのサタンの試みをイエスは一々聖書を引用して反撃された。その後、次のように記されている。「悪魔はあらゆる誘惑を終えて、時が来るまでイエスから離れた」と。その時を悪魔は絶えず窺っていたのである。その機会

がすぐに、イエスがナザレで説教をした時に訪れた。イエスは荒野で宣教の方法に就いて思いを凝らされた時、この世的に有効な現実的手段を探るように誘惑された。それがサタンの三つの誘惑であった。イエスはこの世のどんな声にも耳を傾けず、唯神の言葉にのみ従う決心をされた(ルカ4・4、8、12)。ナザレの村の会堂でイザヤ書を読まれた時、そのメッセージをどのようにして実現するか、目に見えない神の言葉に信頼するよりは遙かに現実的な方法があるのではないかという声が聞こえた。これはサタンがイエスの心を動揺させ得る又とない機会であった。しかし、イエスは自分がメシアであることを証明するために、どんな奇跡をも行わない、神の言葉にだけ信頼すると、荒野でした決心を守られた。ルカはイエスが奇跡より以上に「言葉の権威」を重視している(4・32、36、39、41、44)ことを伝えていく。ただイエスは病気で苦しんでいる人々には手を置いて癒された(同40、5・13)。この病人への同情と労りは、ルカ自身が医者であったことも影響しているのかもしれない。ルカ5章の「漁師を弟子にする」場面はマルコ(1・16〜20)に比べてかなり拡張されている。ここでイエスは舟に乗って群衆に説教をしている。5節ペトロは「先生、

第36回

九州アシュラムの安末内

主題 耶主霊の六九汎洩

「彼は聖霊と信仰とに満ちた立派な人であったからである。こうして主に加わる人が、大ぜいになった。」(使徒行伝11章24節)

助言者 原田 謙 牧師

(日本キリスト教団更生教会)

▼日時 9月24日(日)〜25日(火)

▼会場 福岡黙想の家

宗像市名残一〇五六

☎ 0940-92-3222

▼費用 一万三〇〇〇円

▼申込先 小倉中央教会

(岡山教彦牧師)

北九州市小倉南区守恒

四一〇一三

☎ 093-961-1960

牧師館 093-963-5138

▼国際アシュラム

二〇〇四年十月、日本で開催のため準備が進められています。

場所を「関西」との希望で理事長・大石嗣郎牧師が、関西アシュラム委員会に出席して説明をされました。国際アシュラム本部と連絡を取りながら具体的に計画されて行くでしょう。現在、大石嗣郎牧師は病中にありますので主の支えを祈って下さい

東京都目黒区中央町1-21-10

東文会教会受付

日本キリスト教団・アシュラム本部

夜通し苦勞をしましたが、何も、取れませんでした。しかし、お言葉ですから、網を降ろしてみましよう」との答えや、また、「今から後、あなたは人間をとる漁師になる」(マルコ・漁師にしよう)という表現もイエスの言葉の権威を強調している。5・23〜25も同様である。

▲奇跡は信仰を助けるものであるが信仰の基礎ではないことをルカは主張している。そしてルカによれば、イエスが目指したメシアの働きは、主の恵みの年はすべての貧しい人への福音、すべての捕らわれている人の解放、すべての目の見えない人に視力の回復を告げること、すべての庄迫されている人への自由、を意味していたのである。それは裏を返せば、神の言葉によってサタンの業を破壊することであった。神の言葉のみの信仰に立つためにイエスは苦難の生涯を送られたのである。イエスの両親がイエスを献げようとしてエルサレムの神殿へ伴った時、聖霊に満たされていたシメオンは幼児イエスを腕に抱き、彼らを祝福してマリヤに言った。「ご覧なさい。この子は、イスラエルの多くの人を倒したり立ち上がらせたりするために定められ、また、反対を受ける印として定められています。あなた自身も剣で心を刺し貫かれます。多くの人の心にある思いが露にされ

るためです(2・34〜35)」。イエスはナザレで崖から突き落とされ石で止めを刺されるところであった。サタンとの戦いの一コマであった。

旧約聖書 霊想
『砕けた魂・悔いた心』
詩編五一篇

元連盟理事長 海老沢宣道

(多くの人に親しまれ、今は天に召された海老沢牧師をつい懐かしく思つて、この文章を載せました。)

クリスチャン・アシュラムに参加するには申込書と宿泊費を出して、当日時間までに会場に行けばよいというものではありません。まず開心して主の御前にひれふし、その慈愛と憐れみを求めずに参加することはできません。なぜなら主の赦しなしに聖なる御前に近づくことはできないからです。ダビデ王の前半生は信仰的にもかなり立派なものでした。神の助けによって次々に勝利を納めユダヤの王となりました。人間は名誉や地位、財産を得ると忽ち高慢になるものです。物事がうまく行くと全てでは自分の能力によるものと誇ります。

聖なる主に心を開き明け渡す時、これらの思いが『もろもろのしがらみ』

であり、『私の不義、私の罪である』ことが示されます。心を全開して主の御前に出さないう限り、アシュラムの恵みに浴することは困難です。主は私たちの全てを見通しておられるのに、少しでもかくそうとする思いがあるなら、それは結局、恵みを求めてはいない証拠だからです。

私たちは罪を犯した時、その結果を恐れ、人に対しては謝罪をします。しかしそれが神に対する反逆であることに気づきません。ダビデ王は地位と権力に物を言わせて、美しい人妻を横取りしても、誰も知らないとかんがえるほど思いがついています。そこに預言者が現れ、罪を示された時、彼は王座からすべり下りてひれふし、ざんげの祈りをしたのが、この51篇です。『ただあなた(神)に罪を犯しました。あなたの裁きに異議はありません』というの御心のままに絶対服従(サレンダー)しますという告白です。

有名な例話の放蕩息子(堕落して豚小屋に寝るようになった時)『我に帰って』言います。『父のもとに帰って言おう。私は天に対し、あなたに対して罪を犯しました。息子の資格はありません。雇人の一人にして下さい』と。私たちが父のもとを離れて我欲に満ちた自分中心の生活をしてきました。アダム以来の原罪の法則を受けている生まれながらの

第35回

関西アシュラム 安内

主題 『御三ロへの』
静聴しと立証』

▼日時 10月7日 15:30

8日 14:30

▼定員 60名

▼会場 国際交流セミナーハウス

〒520-0036

大津市園城寺町字常在寺

1133-5

☎ 077-521-3953

◇助言者 後宮俊夫牧師 他

関西アシュラム委員

▼費用 一万一〇〇〇円

▼申込方法 〒607-8405

京都市山科区御陵田山町35

京都復興教会内『関西アシュラム事務局』

☎075-591-7291; FAX

の場合075-581-9299)へ『関西アシュラムのご案内』をご請求下さい。

申込は、『関西アシュラムご案内』に同封の郵便振替用紙を用いてお申し込み下さい。

▼締切 10月1日(但し、定員60名に達し次第締切)

▼持参品 聖書・筆記用具(歌集は用意しています)

▼注意 用意しています)

用意しています)

用意しています)

用意しています)

用意しています)

用意しています)

用意しています)

用意しています)

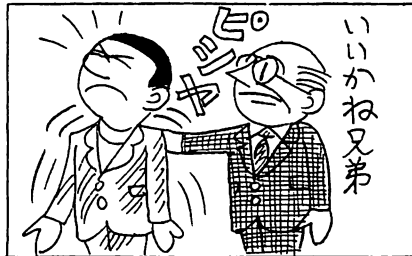
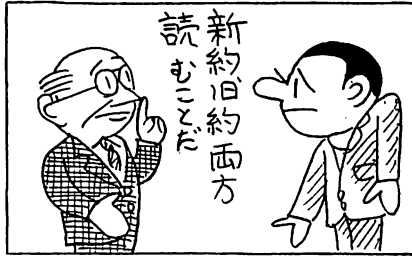
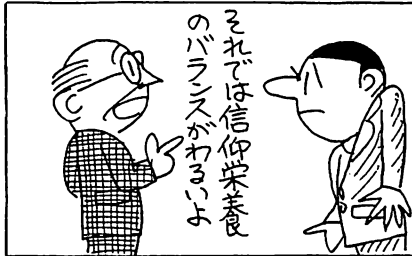
用意しています)

罪人です。エデンの園から追放されて、もはや神の子の資格を失った放蕩息子でした。

しかし今は主に對して偽ることなく真実な心になりたいと願っています。しかもなお私たちにも判らない隠れた罪があります。パウロが『私は何とみじめな人間か。誰がこの死の体から救ってくれるのか』と叫んだように『ヒソプをもって清めて』頂く他はありません。いかに赤い罪も御子イエスの血によって、きよめられ、雪より白くされるからです。ダビデも放蕩息子も私たちも、罪を悔改め、砕かれた魂となりました。主は我欲をぬぐい去って、清い心を造り、聖霊を注ぎ込んで下さいました。しかし油断することなく日々新しい霊を頂き続けなければ、また自慢の心が起こってきます。アシュラムで開心して主に明渡し、静聴の

はれるやま

谷 牧子



時を守り、主に従い、謙遜の徳を積んでくると、相当のクリスチャンになったように思う高慢の罪を犯しがちです。過去に聖霊の喜びを体験したとしても、現在も聖霊のきよめを受け続けていないなら無に等しいのです。イエスを主として生活したいと願うこととイエスを実際に主として生活していることは別物であります。私たちは自力で明渡し、新生するのではなく、主によって、私たちの骨を砕き、心も魂も徹底的に砕かれ、御霊に動かされて道を宣べ、栄光をさんびする者とせられたいものです。つまりアシュラムはどこまでもキリスト中心の他力信仰に生きる生活であります。ダビデ王は戦勝をくり返して国家を強めたが、多くの血を流した罪の故に、神殿を建てることはできませ

んでした。私たちは神の御子イエスを十字架に送り、その聖血を流した罪があることを常に記憶して、かりそめにも自分は清い聖徒になつたなどと、うぬぼれないように、日々ただイエスを主と仰ぎ、絶対服従の生活を送りたいものです。『神の受けられるいけにえは、砕けた魂、砕けた悔いた心』だからです。

お願い
各地のアシュラムに祝福を祈ります。是非、出席された中から原稿を送って頂きたいと願っています。各支部、教会主催の担当の方々にご協力をお願いします。又、アシュラム開催計画についても、事前にお知らせ頂きますとニュースとして取り上げたいと思います。実りの秋、思いに勝る恵みを祈ります。(有馬)

第39回

関東アシュラム(安内)

主題 『イエスは』

主である』

副題 『心を尽くして主に信頼せよ』

(箴言3章5節)

◇助言者 新原 迪 牧師

(関東地区アシュラム委員)

他 地区アシュラム委員

▼日時 9月24日(日) 26日(火)

▼費用 登録費 三〇〇〇円

参加費 一五、〇〇〇円

▼会場 山崎製パン箱根山荘

(神奈川県足柄下郡箱根町仙石原一二四五)

☎ 0460-47597

▼申込先 〒181-0011

東京都三鷹市井口3-15-6

日本ホーリネス教団池の上キ

リスト教会内「関東地区アシ

ュラム委員会」事務局宛

☎ 0422-33-0018

FAX 0422-33-0061

▼持参品 聖書・筆記用具・洗面具

(歌集は 用意しています)

▼委員のご奉仕を下さいました、逝

去者(向山自助牧師、三井賢太郎

氏)の記念の時を持ちます。

※案内書が用意されていますので上

記事事務局宛請求して下さい。